

令和8年(2026年)4月22日(水曜日)

三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島の渡辺豊博専務理事(75)が、自身の思考を学習したAI(人工知能)と対話できる追加機能を付けた新刊「ジャンボ・メッセージ グラウンドワーク三島・水辺のまちづくり極意」(泉町書房)を出版した。「ジャンボ」のニックネームで親しまれる著者の実践知を基に開発した「AIジャンボ」を導入した。

GW三島の後継者問題を考える中、書籍だけでは伝わらない約30年のノウハウを残そうと手がけた。同書は、市民の力で成し遂げた源兵衛川再生プロジェクトの軌跡や、住民参加によるピクトづくりの手法などを収録。NPOやまちづくりに取り組む人たちに向け、現場の体験知を基に「湧水網都市」を創造する歩みや組織運営の知見をまとめた。

AIジャンボは、渡辺専務理事の膨

30年の知見、AIで次世代へ



GW三島・渡辺さん新刊

大な講演録や講義、論文など約1千万字相当の情報を踏まえ、チャット形式で質問に回答する。「仲間づくりに大

対話の追加機能「読者に伴走」

切なこと」「活動資金の確保策」などのほか、日常生活の悩みにも答える。データ解析会社のアイズファクトリー(東京都)がデータを独自技術で解析し、著者らしやや回答の正確性が高まるAIにした。出版後も新たな講演録などを追加学習させ、最新の知見を反映させるといふ。書籍内のQRコードからアクセスする。

渡辺専務理事は「読んで終わりではなく、著者と読者の無限の対話成り立つ。読者の挑戦に伴走する知的パートナーとして活用してもらえれば」と話した。

A5判、232頁。2500円(税別)。AIへの質問は10回まで無料。以降は月額2千円(同)。

(三島支局・白本俊樹)

AIと対話できる機能を付けた新刊を紹介する渡辺豊博専務理事 21日午後、三島市のGW三島